

平成18年度 「中央部地区利用適正化基本計画」 の具体化にかかる検討について

1 「中央部地区利用適正化実施計画（案）」の作成

平成17年度に検討した優先検討地域について、各地域別に「利用適正化実施計画(案)」を作成する。ただし、実施可能な対策については順次着手するものとする。

(1) 作成対象地域

- ① 知床五湖地域（五湖園地、五湖歩道）
 - * 関連エリア：ホロベツ園地、車道沿線（横断道～五湖）
- ② 羅臼湖地域（羅臼湖）
 - * 関連エリア：知床横断道路、羅臼温泉集団施設地区、熊越の滝
- ③ 知床連山地域（知床連山縦走線）
 - * 関連エリア：岩尾別温泉～羅臼岳、羅臼温泉～羅臼岳、カムイワッカ～硫黄山
- ④ カムイワッカ地域（カムイワッカ）
 - * 関連エリア：車道沿線（五湖以奥）

(2) 検討・策定事項

実施計画は以下の事項について記述する。（ただし地域により記述しない項目もある）

- ① 作成の目的
- ② 保護及び利用の現状
 - ア 自然環境の特性
 - イ 利用の現状
 - ウ 課題・問題点
- ③ 基本方針（達成目標及び取り扱いの方向性）
- ④ 利用ルール
 - ア 利用のコントロール
 - i 望ましい交通システム
 - ii 利用形態・利用者数の調整
 - イ 利用の心得（利用ガイドライン）
- ⑤ 施設整備計画
 - ア 利用施設の整備・補修
 - イ 保護施設の整備・補修
 - ウ 利用分散対策（新たなフィールド開発・整備等）

- ⑥ 管理・運営計画
 - ア 巡視・指導
 - イ 安全管理（ヒグマ対策、遭難防止対策等）
 - ウ 野生動植物保護（植生保護対策、外来植物対策等）
 - エ ガイドシステム及び参画・協力体制
 - オ 広報・周知
- ⑦ モニタリング計画

*資料2『各地域の「実施計画策定事項」と17年度調査で整理された「検討事項・対応策等」との対照表』

2 利用者マップ（仮称）の作成

（1）作成目的

知床国立公園の利用者（ガイドや関係事業者を含む）に対し、中央部地区の利用適正化にあたり実施にうつした対策の周知や利用適正化の趣旨・目的、検討中の利用ルール、地域の現況等を広報・周知するためのマップ（パンフレット）を作成し、対策の効率的実施に資する。

（2）作成地域

- ① 知床五湖地域
- ② 羅臼湖地域
- ③ 知床連山地域

（3）情報の内容

- ① 利用適正化の基本理念、趣旨、目的 等
- ② 地域の概況
 - ア 自然条件（動植物概況、植生荒廃地点・状況 等）
 - イ 利用条件（混雑・渋滞状況、周辺利用適地=利用分散 等）
- ③ 利用ルール
 - ア 利用のコントロールの内容
 - イ 利用の心得（ガイドライン）

3 上記1の（2）の検討に必要な調査の実施

- （1）夜間動物観察状況調査
- （2）冬期利用状況調査
- （3）交通規制検討調査
- （4）入山カウンターデータ解析（9箇所）